

けれど、今は終身雇用が崩れ、夫の会社だつてどうなるかわからない。これからは、より女性の労働力が必要になってくる時代だと思います」と直美さん。

最近の新聞に、夫婦間のコミュニケーション不足が40代の離婚原因の一つ、という記事がありました。夫が家事、育児に熱心でないことに不満を持ちながら、うまく伝えられない妻。我慢の限界を超えて離婚を切り出す妻に、夫は驚くばかり。そんな切ない顛末になる前に、大塚さんのように普段から助け合い、コミュニケーションを大事にすることが、家庭円満の秘訣だと、取材を終えて思いました。

男女の平等感

男女平等の意識は
男女でこんなにずれている

大田区では、平成21年に区民2000人を対象に男女平等に関する調査を行っています。下のグラフは、家庭生活、職場、教育の場、政治の場、法律や制度、社会通念や慣習の6分野について「男女の地位は平等に

なっていますか」と尋ねた結果です。すべての分野で男性は、女性が思う以上に平等が進んでいると答えています。

分野別にみると、教育の場では、男女とも平等になっていると答えた割合は過半数を占めています。次に法律や制度、家庭生活の順で男女平等と感じています。

家庭生活の場では、男性の33.9%が平等になっていると答えているのに対し女性では、22.3%となっています。一

方、男性が優遇されていると答えている女性は、44.5%を占めています。

男女で平等感に違いがあるように、各年代においても微妙に違いがあるようです。

固定的な男女の役割分担意識は、幼い頃からの習慣、慣行の中で無意識のうちに刷り込まれているものです。学校教育の現場における子どもたちの男女平等意識はかなり進んでいます。が、家庭、地域などにおいてはどうか。就職、結婚、出産、育児、

介護など様々な場面のときに、男女平等になっているのかとふと疑問をもつのではないのでしょうか。

男女共同参画や男女平等の意識は、普段気にすることもありませんが、いざ困難に直面したときには、男女平等の課題が顕在化してくるものです。改めて、男女平等について考えてみてはいかがでしょうか。

次にあげる分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか？

分野	男性 n=389		女性 n=466		無回答
	男性優遇	平等	女性優遇	どちらとも言えない	
家庭生活	15.1	33.9	31.6	14.1	5.1
職場	8.2	20.6	60.1	5.7	5.4
教育の場	4.9	62.0	12.1	15.4	5.7
政治の場	1.3	23.7	60.4	9.3	5.4
法律や制度	9.0	38.0	30.3	16.5	6.2
社会通念や慣習	4.1	13.6	67.1	10.8	4.4

「妻の妊娠・出産にとまどう男たちへ」 メンズのための安産バイブル

パースコーディネーター 大葉ナナコ

パートナーが妊娠した。そりゃ嬉しい。しかし、体調が変化したりおなかがふくらんだり子どもが動き出すと親になる実感に伴う女性と違い、男性はなかなか親になる実感は持ちにくい。何をすればいいのか、病院はいつ行けばいいのか、それよりこんな自分が親になれるのかとの不安や、パートナーの機嫌が悪いのは何なのか、子どもが生まれるまでに何を準備したらいいのか。陣痛は、産後はどうしたらいいの。著者はカップル向けに安産教室を13年にわたり開講してきた。「妊婦の夫たち」パートナーからよく受ける妊娠出産に関わる質問をベスト50にまとめた。めざすべきは「心の安産」。愛するパートナーと、まだ生まれていないが子のために、最善をつくそうという男性の心意気で手にとって読んで欲しいガイド本です。



主婦の友社 1,470円

パステル おすすめ本

子育てを楽しみたいと
希望する男性が
増えてきている。
男性に読んでほしい
～妻の妊娠から
関わる男の子育て～